

第6章 仮 橋

第6章 仮 橋

6.1 仮橋計画の基本	3-6-1
6.2 仮橋設計条件	3-6-1

第6章 仮 橋

6.1 仮橋計画の基本

仮橋の設計は、「道路土工指針 仮設構造物指針」による。

6.2 仮橋設計条件

(1) 設計条件

1) 一般交通に供する仮橋の場合

自動車荷重は道路橋示方書を基本としB活荷重を標準とする。許容応力度の割増については1.25とし、地震時(レベル1地震動)を考慮すること。

2) 工事専用の仮橋の場合

A活荷重を標準とし、許容応力度の割増は1.5、地震時は考慮しないこととする。

3) 杭の支持力

杭の許容支持力を算出する際の安全率は、下表を基本とする。

表6.2.1 安全率

	常時	地震時
一般交通に供する仮橋の場合	3	2
工事専用の仮橋の場合	2	—

【解 説】

- (1) 表6.2.1の安全率は一般的な値であり、構造物の重要度、荷重条件、設置期間、交通条件等によっては、この値を割り増すのがよい。

